

甲子園の夏が教えてくれたこと・・・

皆さんは甲子園を見ましたか？以前、冬号を担当した際、大好きな箱根駅伝の「襷」について触れましたが、甲子園も心を動かされる場面が多く、毎年楽しみにしています。今回は、その中でも「地域とともに挑んだ高校」の姿を紹介します。

今年の大会では、秋田県の横手高校が57年ぶりに出場しました。秋田は青森から見ても身近な隣県ですし、その頑張りとはとても共感できるものでした。同校は地域の方々の支えを受けながら準備を進め、17台のバスを連ねて向かいました。紫一色に染まったアルプススタンドには、家族、仲間、卒業生、地域の方々の思いが満ちていました。地元では早朝からパブリックビューイングに人々が集まり、声援を送り続けたそうです。試合は惜しくも敗れましたが、試合後には「誇りです」といった感謝の言葉が多く聞かれ、地域と学校が一体となった挑戦であったことが伝わってきました。

本校も開校から10年の間、学習活動や行事の場面で地域の皆様に多くのご協力をいただきました。地域の支えが生徒の学びを豊かにしてくれています。これまで築かれたつながりを大切にしながら、これからの10年に向けて、地域とともに成長する学校であり続けたいと感じました。

生徒の皆さんは、地域に支えられていることへの感謝を胸に、これからの学びを自分の力として積み重ねていってほしいと思います。夏休み明けも共に頑張っていこう！（産業科主任 佐藤）

カレーライス作り（7月21日）

産業科3年1組と2組で、家庭科の時間にカレーライス作りを行いました。今回はカレールーのパッケージにある材料とレシピを参考に作りました。夏場の調理のため、衛生面に普段以上に留意することも意識しました。

計画や準備、当日の調理と片付けを含めた振り返りでは、グループで「よかったこと」と「反省と次回に向けて」を話し合いました。

夏休み明けにもう一度カレーライス作りをする際には、今回の振り返りをぜひ生かしてほしいと思います。（中谷）



蕪島散策（7月10日）

職業コースのトレイルウォークが中止になったため、学級で蕪島まで行ってきました。予定外の好天候と暑さの中でしたが、生徒たちは大はしゃぎ。到着後は、木陰や海辺で潮風を感じながら、思い思いの時間を過ごしながらも、お互いに声を掛け合う場面も見られ、学級の絆も深まったと感じたひと時でした。（毛利）



身だしなみ講座（7月23日）

ライフラーニングAの授業の一環として、3学年社会コースの身だしなみ講座を行いました。ロート製菓の講師の先生から、正しい洗顔方法や日焼け止めの塗り方などを教えていただきました。正しい洗顔のやり方を教えてもらう際には、実際に洗顔料を泡立て機で泡立て、きめ細やかでふわふわした泡をみんなで作ることができました。

ふわふわした泡で洗顔したことで、みんなの顔がすっきりし、笑顔もたくさん見られました。（宮形）



第6回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

7月1日に、第6回青森県特別支援学校総合スポーツ大会が青森市で開催されました。本校からは、部活動に所属する生徒が各競技に出場したほか、産業科の生徒がフットソフトボール競技、普通科生活コースの生徒がオンラインチャレンジボッチャ競技に出場しました。また、学校ではチャレンジ種目の記録会を行いました。各会場や学校では、仲間を応援する声が響き、一人一人が最後まで全力で取り組みました。

保護者の皆様には、当日の通常と異なる時間帯での送迎にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

心より感謝申し上げます。（山形）



新しい先生の紹介です。田代 京香（たしろ きょうか）先生が普通科1年1組の担任として、8月1日より勤務しています。よろしくお願いいたします。

おいせ

